キャリブレーション手順

1. 騒音計を用いてキャリブレーターの音圧レベルを測定する（音圧レベルA）
2. ダミーヘッドを用いてキャリブレーターの音を収録する（収録音A）
3. ②と同じ設定でダミーヘッドを用いて、事前に作成したsin波とホワイトノイズを収録する（収録音B）
4. 収録音Aと①の音圧レベルAを用いて、getsplcompensationから音圧レベル補正量を求める（補正量A）
5. 収録音Bを入力音として、収録音Bと補正量Aを用いてgetsplsigから音圧レベル信号を求める
6. ⑤で求めた音圧レベル信号の最大値を収録音Bの音圧レベルとする（音圧レベルB）
7. ③で使用したオリジナルのsin波とホワイトノイズと⑥の音圧レベルBを用いて、getsplcompensationから音圧レベル補正量を求める（補正量B）
8. 実験で用いる音声を⑦で求めた補正量Bを用いて任意の音圧レベルに正規化する

※getsplcompensationとgetsplsigはmatlabの関数になります．この関数の詳細は坂野先生に聞いてください